

12月23日 三郎ヶ岳

平尾 繁和

山名	三郎ヶ岳	山行名	例会		
ルート	中池ロードパーク～登山口～分岐～三郎ヶ岳～パラグライダー基地～三郎ヶ岳～分岐～登山口～中池ロードパーク				
山行日	2020年12月23日(水)	天候	晴れ		
参加者	CL:平尾 SL:中田 女性6名、男性5名/11名 1班:伊藤多、河野、高橋、永井、吉田、2班:西川洋、蒲田、木田、玉井				
ルート概略 省略	コースタイム				
	地名	時:分	地名	時:分	
	京田辺		パラグライダー基地	着	11:30
		発		8:05	発
	中池前ロードパーク	着	三郎ヶ岳	着	12:20
		発		9:15	発
	登山口	着	登山口	着	13:28
		発		9:35	発
三郎ヶ岳	着	中池前ロードパーク	着	14:05	
	発		11:20	発	14:20
<p>牛松山と比べあまり知られず登られていない亀岡の山。山下さん作成の山行インデックスにも載っていなかったの、ここ16年では山友会でも初めての山。WAO亀岡がクリーンハイクされる山で、山頂や途中には道標が整備されていた。ガイドブックによると、かつてはよく登られ登山道を示す破線もいくつかある。しかし、今は踏み跡も定かでなく読図が必要とのことで小口コースからのピストンが案内されていたので、今回はそれに従うこととした。府天然記念物のオニバスが自生することで知られる中池をあとに里山の田畑を眺めながら歩く。コウノトリの飛来があったとの看板もあった。小口バス停の先に登山口があり、左の山手に入っていく。アベマキ(ブナ科、クヌギとよく似ている)などの落葉が積もった道を九十九折に高度をあげていく。落葉の間に大きな黒っぽい石があちこちに散らばっており、のらないよう注意してもらう。平の沢池など眼下に見下ろせる展望の場所で休憩。山腹の南側を高度を上げていくと、右手に510mピークが見える。その南奥は牛松山か。ソヨゴの木がたくさんあり長い柄に赤い実をつけていた。北舎峠へ南下する分岐につくが、分岐とはいえ下る道は不明。休憩をして先へすすむ。一度下り尾根の鞍部にでると山頂にむけ最後の上りが待っていた。途中木の間から右手に地蔵ヶ岳らしき頂が見える。落葉の急坂を登りきって小広い山頂につく。集合写真を撮って、パラグライダー基地へ向かう。専用自動車道まで下り10分ほどで前方が開けたパラグライダー基地につく。途中簡易トイレが設置されていた。昼食休憩とする。数人がこれから飛行の準備中でパラグライダーの離陸を見て写真を撮った。眼下の亀岡盆地や行者山、半国山など北摂の山を見ながら斜面で昼食をとった後、来た道を引返す。登山口から駐車場まで戻る右手に今登ってきた三郎ヶ岳の山並みが見え、パラグライダーが山上を高く長く漂っているのを眺めた。中池に戻るとカモの群れが休んでいた。整理体操をして解散した。今年最後の例会は天気に恵まれ里山の陽だまりハイクを楽しめた。みなさんありがとうございました。ヤマップの地図に「三郎ヶ岳」はないので、「亀岡里道トレイル」で出してください。ヤマップ記録 4時間49分、7.8km、上り624m/下り624m</p>					
ヒヤリハット なし					



三郎ヶ岳山頂 (616m)



パラグライダー基地





三郎ヶ岳



登山口



落葉の道



亀岡盆地と北摂の山等を望む



受験生のお守り、ヤマコウバシ



北舎峠への分岐付近



感想文

蒲田 史

○しばらく寒い日が続いた日でしたが、当日は比較的暖かな日でした。山頂まで陽がよく当たり、歩いていると暑いくらいです。落ち葉が積もっており、その下には石があるので気をつけるようにとのこと、確かに落ち葉がたっぷりと積もっていました。ところどころイノシシが掘り返したらしくふわふわに耕されていました。山頂付近には先日降った雪がところどころ残っており先日までの寒さが思われます。今冬初のちょっとした雪景色でした。山頂はパラグライダーの出発地点になっており、そこから次々と飛んでいきます。目の前で飛び立ち、麓まで旋回したり上がったたり下がったりと、とても気持ちよさそうでした。それをみながお昼ご飯になりました。

今回は登山口近くまで車で連れて行って下さり、とても楽をさせていただきました。年内最後の山登り、おかげさまで楽しませていただきました。ありがとうございました。

高橋 有紀

○今日はお世話になりありがとうございました。

ぽかぽか陽気でパラグライダー基地からの見晴らしが良く、気持ちよかったです。これからもよろしく願いいたします。

中田 繁男

○快晴の晩秋の一日は分厚い絨毯の落ち葉が迎えていただき、ふかふかの登山道を楽しく歩かせて頂きました。今年最後のハイキングでした。

永井 繁一

○今年最後の山行。

駐車場手前から見上げる山は 613.4mあるとは感じられず、楽勝の山登りかと！ 登り始めの登山道はこぶし大の石が多く見えていたが、しばらく進むと落ち葉の絨毯でフカフカの登山道に変わる。だが落ち葉の下は岩石がゴロゴロ。絨毯トラップで、いつもより足首の負荷が多かった。頂上付近まで同じような状態が続いたが、時折木々の間からため池の点在する田園風景が望め、気持ちの一休みができた。頂上の眺望は無かったが、少し下ったパラグライダー基地からは、遠く西側の山並みや更に広がりのある田園風景を見渡せられるパノラマを満喫した。また基地からは多くのパラグライダーが飛び出し、優雅な空中飛行の様子をしばらく眺めた。出会えてラッキーだった。締めくくり山行にふさわしく晴天に恵まれた楽しい一日でした。皆さんありがとうございました。